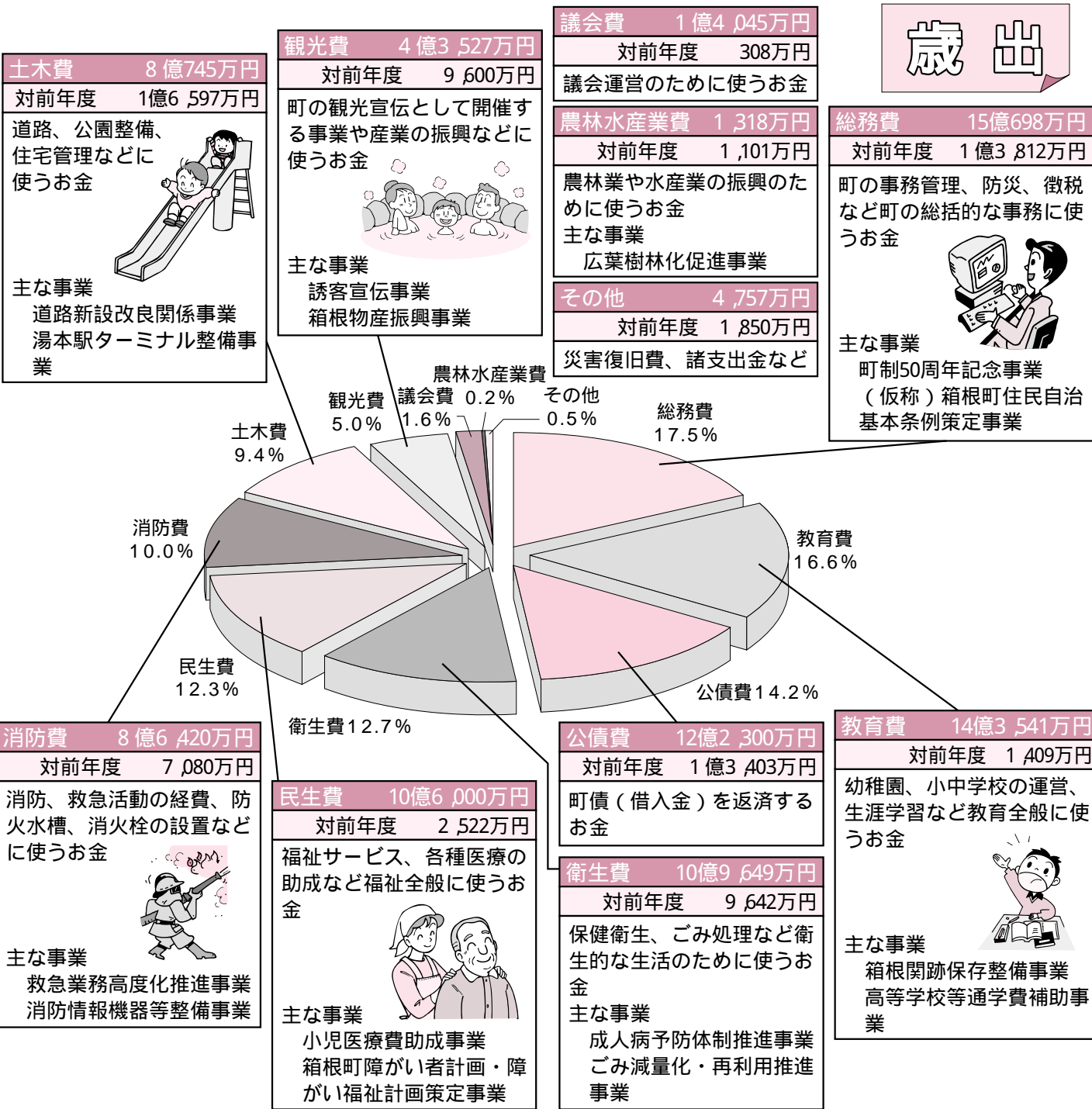
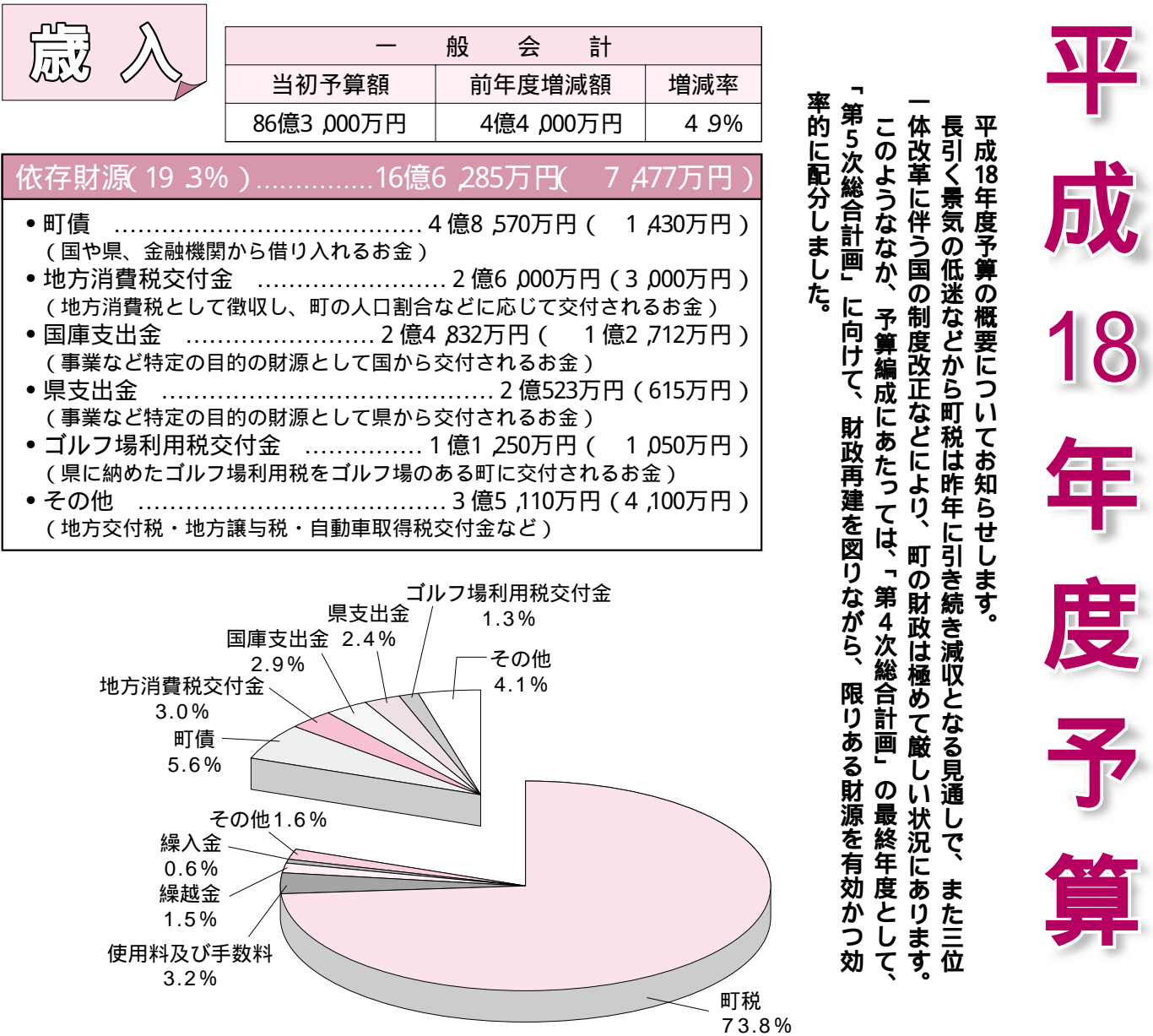


平成18年度箱根町 予算総額



151億1,347万円



平成18年度予算

平成18年度予算の概要についてお知らせします。
長引く景気の低迷などから町税は昨年に引き続き減収となる見通しで、また三位一体改革に伴う国の制度改正などにより、町の財政は極めて厳しい状況にあります。このようななか、予算編成にあたっては、「第4次総合計画」の最終年度として、「第5次総合計画」に向けて、財政再建を図りながら、限りある財源を有効かつ効率的に配分しました。

自主財源(80.7%)...69億6,715万円(3億6,523万円)

- 町税 63億7,000万円(2億3,400万円)
- 使用料及び手数料 2億7,561万円(1億795万円)
- 繰越金 1億3,000万円(1億円)
- 繰入金 4,961万円(1億3,878万円)
- その他 1億4,193万円(40万円)

町税の内訳

項目	予算額	対前年度比較
固定資産税	43億9,130万円	1億5,320万円
町民税	10億6,810万円	6,910万円
入湯税	7億1,490万円	1,060万円
町たばこ税	1億7,800万円	200万円
軽自動車税	1,770万円	90万円
合計	63億7,000万円	2億3,400万円

平成18年度一般会計予算の総額は86億3,000万円となり、最近10年間では最も少ない予算額となりました。これは歳入の主体となる町税、なかでも主幹税目である固定資産税が土地価格の下落に加え、3年に1度の評価替えに伴い1億5,320万円の減収となるなど、町税全体では前年度に比べ、2億3,400万円の減収の見込みになりました。このため、歳出面では前年度に続き人件費の削減を行い、また事務事業の見直しにより経費の節減や事務の効率化を進めるなど歳出全般に渡る削減を図り、歳入の減収に対応しました。